

# 町長の姿勢を問う

## 明るいまちづくりに 奮闘する／町長



の しょうぞう 議員  
矢野 昭三

### 問

① 8の字ルートは早期完成できるか。

若者の働く場確保のため四国地方整備局を誘致してはどうか。

② 平成23年度予算編成方針は主権者の期待に応え得るものか。

③ 平成23年度福祉計画において介護施設整備をどのように進めるか。

④ 平成21年度からの繰越事業と22年度事業の進捗状況は。

国の補正予算に町として如何に対応するか。

⑤ 歴史ある区長をいかに位置づけているか。

⑥ 不法投棄に対する啓発、投棄者の調査をしているか。

⑦ 環太平洋戦略的経済連携協定等、自由化に反対を明確にしているか。

⑧ 町道に外側線を引くか。

### 答

#### 大西町長

① 政権交替により新年度予算は不透明だが、事業着手に向け強く訴える。

雇用場の確保について、企業誘致は即効性が高く当然視野に入れていくが、四国地方整備局の誘致を考えたことはない。

② (1)、産業振興と雇用の創出。(2)、高齢者福祉の充実。(3)、まちづくり、インフラ整備。(4)、基礎学力の向上を重点に置いた。現状の事業を取捨選択し、やらなければならぬことをしっかりとやって行く。

③ 遊休施設の活用は、介護保険の事業で、3年ごとに事業内容の検証を行う事になっている。第5次の計画を平成23年度に策定するので、この計画の中で施設整備の方針を決めることになる。

④ 21年度に繰越した事業費、10億4862万8千円は、3月末までには消化できる見込み。

普通建設事業は36億5千8百万円の予算に対して26億2千9百万円の契約額。契約率は72%。

国の補正予算で本町に交付されるのは、2億5743万7千円。田ノ浦消防団の消防ポンプ車の購入。佐賀小学校屋内運動場の天井張りの舗装。三浦小学校、佐賀中学校の耐力度調査。また、避難路の整備。

備。福祉センターの耐震診断等々計上しており、残額は、社会資本整備や農業漁業へ一次産業への支援、更には雇用対策など平成23年度の施策事業等を前倒しで3月に補正計上する考え。また、普通交付税の追加分は、基金繰入金で最終調整をする。

⑤ 区長は、地域住民の代表者として位置づけている。町からの情報提供は、情報公開条例、個人情報保護条例に基づいて対応する。

⑥ 一般廃棄物の処理は、市町村が廃棄物の処理及び清掃に関する法律により適正な処理を行うことになっている。捨てた者は5年以下の懲役、もしくは1千万円以下の罰金となっているが、不法投棄が重大な事故を招くことがあるので、町の広報やチラシで啓発をしている。更に、保健所、警察と対応を協議し解決に努める。

⑦ 現状のままでは反対の姿勢を明確にしている。

⑧ 管理者である町として、利用者の安全性、利便性を図

る観点から外側線というのは必要だと認識している。危険性の高いところから必要に感じ設置する。



佐賀橋川の高規格工事用道路が整備された。